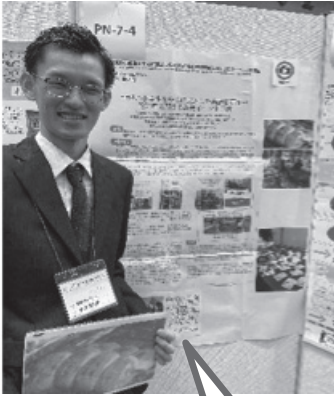


Contents

- 特集記事 2~3
- 研修案内 4~5
- 理事会報告 6~10
- 施設紹介 11
- エッセイ 12~13
- 編集後記 14

てるてるとてくてく 井浦 優太郎



ポスター会場で焼きまんじゅうの写真をもちグンマーアピールをする筆者。ちなみに演題内容は「地域の小学生を中心に実施した高齢者福祉や認知症に関する啓発イベントの報告」でした。

まずこの投稿の依頼を広報部から受けた時、2点注文を受けました。1つ目は日本作業療法学会に「楽しそうだから私も参加したい」と思える内容であること。2つ目としてタイトルは「加速・加速・超加速」が良いとの事でした。他の方の投稿と比べると“かなり”フランクな内容となっていることを初めにご了承頂きたいです。

改めまして、今年の日本作業療法学会は11月9日・10日の2日間、北海道札幌市の札幌近ペンションセンターで開催されました。ちなみに11月6日から8日までは第8回アジア太平洋作業療法学会と同時開催となっていました。私自身、全国学会の発表者として参加は昨年から続き2度目となります。私が「学会発表をしてみようかな」と思った理由として、友人が一昨年から発表していたので「彼がやってるなら自分もできるだろう」というライバル心と、私の“自分ルール”として「1年間で10個新しい事を行う」という縛りを課しており「そういえば、まだ学会発表した事ないな」という理由でした。現状維持は停滞(加速不足)と同義なのです。勤務先で最年長のご利用者様(104歳)は今年のお誕生日の際に「私はここまで来たら、日本一の長生きを目指す」と宣言していました。人生の大先輩がこのモチベーションなのです。私たちが遅れては行けないはずです。

とはいえ、私も学会に参加するには「何か研究してないとダメかな?」と思っており、ハードルを高く感じていた事も事実です。ですが、発表内容の中には“研究発表”以外にも新人症例発表等と同様に“症例報告”や病院や施設・事業で行った活動や取り組みを発表する“活動報告”など様々な方法で発表する事ができます。発表形式も口述発表とポスター発表の2種類あり、ご自身でやり易い方法を選択できます。

全国学会ならではの楽しみ方として、久々に再会できる仲間や普段関わりの少ない領域や地域で活躍するOT、初めて見るような活動を行っている変わり種OT!?と交流を図れる事です。発表後の質疑応答やポスター会場で直接考えや思いを知ることで刺激となり、加速に繋がるのです。いや超加速します。



キッチンカーが並ぶ様子。北海道名物“スープカレー”をチョイス!

また、北海道の雄大な景色やその土地のグルメを堪能することもできました。会場内では新作書籍の販売、会場外にはキッチンカーも沢山来ており、その場だけでも北海道を満喫した気分になりました。気早いです、来年の全国学会はうどん県こと香川県での開催となります。(群馬県内もうどんが有名ですが、讃岐うどんも楽しみです)。四国での開催は第23回愛媛学会以来、なんと36年ぶりになる様です。群馬県だけでなく、全国での“つながり”を広げ、お互いを認め合って力を合わせることで、1の力が数百倍になります。近年、学会はオンライン配信での参加可能ですが、是非現地の“ライブ感”を多くの方に味わって頂きたいです。

日本ハムの新球場 エスコンフィールドを見学。ダルビッシュ・大谷・筆者のレアな3ショット。



特集2

認知症ケアの今とこれから～現場の声から考える～

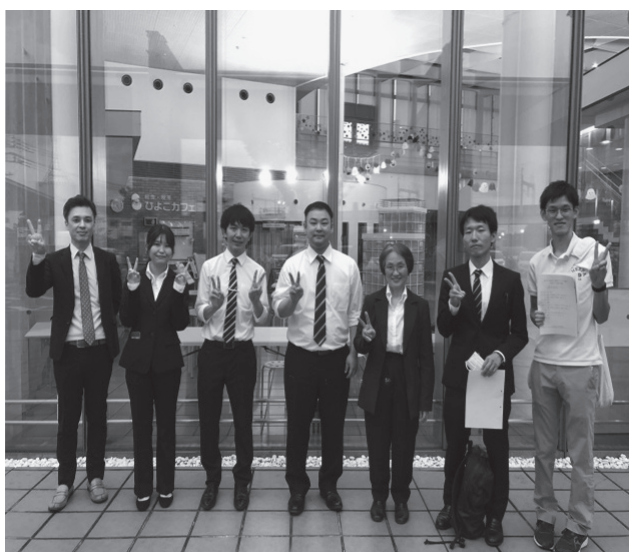
地域作業療法推進部 認知症支援推進グループ
野村 和也(市川クリニック デイケアライズ)

私は現在、認知症支援推進グループに所属しており、日々の認知症ケアに役立つような知識やアイデアを学んでいます。先日、当グループ主催の認知症ケアの研修会が開催されましたので、皆さまに内容を共有できればと思います、この度特集を組んでいただきました。

今回の研修会は10月19日に行われ、「認知症ケアの現状や課題」といったテーマで各々の先生方にお話をいただきました。認知症治療の最前線で活躍する市川先生や、診療報酬改定に伴う現場の声を届ける藤生先生、認知症の方を介護する家族から専門職に望むことを広める恩田先生といった多方面でご活躍されている先生方より、各々の視点から見た認知症ケアの現状や課題について学ぶことができました。

恩田先生の講義では、認知症の方や家族が専門職に望んでいることを中心にお話いただきました。特に印象的だったのは「専門職の方は困りごとの話題になると、知識や経験から結論を出してしまう」という点です。このことから、改めて認知症の方や家族が何を望んでいるかを慎重に考えながら関わっていく必要があると感じました。市川先生の講義では「最新の認知症の知見」についてお話をいただき、その中で私が勤めている重度認知症デイケアについて紹介がありました。あまり聞きなれない言葉だと思いますが、要点をまとめると、①医療保険適応の施設、②前橋市で初めての取り組み、③認知症ケアに精通した専門職が配置されている、④利用中に診察・処方が可能、⑤認知症の予防に重点を置いたデイケアであることが挙げられます。県内ではまだまだ知られていない領域であるため、今回の特集を通じて興味を持っていただけると大変嬉しく思います。

今回の研修会を通じて最新の認知症の知見や診療報酬改定への考え方、認知症の方や家族が抱える思いについて知ることができました。皆さんが共通して話されていた内容として、認知症の方が尊厳を持って穏やかに過ごせるための社会づくりが欠かせないことを挙げていました。私たち認知症支援推進グループにおいても、認知症の方が安心して過ごせる社会の実現に向けて、日々の活動に精力的に取り組みたいと改めて感じました。次回の研修会につきましては、2月8日を予定していますので、皆さまのご参加をお待ちしております



令和6年度 群馬県作業療法士会

認知症支援推進グループ主催

聞くだけでもOK
パーソナリティ
リスナー募集!!

“認知症のことなら何でもOK!!”

YONA YONA 話さない会

3 / 7
(FRI)

Coming soon . . .

yona yona talk

19:30~
On Air!



ZOOM

R5年度 プログラム

- ・群馬OT協会 認知症グループの活動報告
- ・埼玉県 上里町の認知症支援の実状と変化
- ・認知症サポーターに関して
ETC...

【アンケート調査のお願い】

認知症ケア資質向上のための研修会における意識調査
当認知症支援推進グループでは毎年2回の認知症ケアに関する研修
会を企画・開催をしています。県士会員の皆様におかれましては、
認知症のことに関して「こんなことを学びたい」といった意見等を
こちらのアンケートを通してお聞かせ願えればと思います。

お問い合わせ
申し込み





第26回 日本訪問リハビリテーション協会 学術大会 in 群馬 2025

会期

2025年 6月7日(土)・8日(日)

会場

Gメッセ群馬 (群馬県高崎市岩押町12番24号)

地域創生

訪問リハビリテーションの立場から
誰もが暮らしやすい街を

大会長

新谷 和文 (医療法人信愛会 介護老人保健施設うらく)

実行委員長

田村 明信
(株式会社 孫の手)

副実行委員長

三浦 祐司
(成島クリニック)

大会事務局長

小此木 諭
(訪問看護ステーション まつかぜ)

<https://g-regi.jp/houmongunma25/>



主催

一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会

共催

群馬県理学療法士協会・作業療法士会・言語聴覚士会連絡協議会
(群馬県POS連絡協議会)

【事務所】 群馬県POS連絡協議会内 E-mail:g.houmongakkai@gmail.com

群馬県作業療法士会 令和6年度 第4回理事会 議事録

日 時：2024年11月27日(水) 19:00～21:00

会 場：Zoomによるオンライン開催

参加者：新井、石森、今村、小此木、勝野、木村、高坂、小林、関根、高橋、都丸、長谷川、山浦、山口、吉岡、李(50音) 監事：唐澤

【各部報告・審議事項】

1. 新井会長

1) 11月23日開催の「2024年度 第3回協会長・都道府県士会長会議」への出席報告

5歳児健診への作業療法士参画の議題の件に関しては、吉岡理事・勝野理事から別途資料を用いて補足報告。

5歳児健診への作業療法士参画の推進については、協会も重要案件として捉えており、当会としても同様に捉え、地域からのニーズに即応できるよう準備をしていく。

2) 田中昌史参議院議員後援会入会案内及び政経懇話会(政治資金パーティ)への出席依頼等、一連の政治案件への対応についてその対応経過とともに報告した。

3) 2025年度事業計画に「群馬県作業療法士連盟(仮称)の設立支援」を位置付け、あくまで設立後は当会からは独立した別団体としての関係となる事を勘案して、理事会直轄組織としてのワーキングチーム編成し設立へ向けての具体的検討及び準備活動を開始する。

4) 2025年度事業計画に「群馬県作業療法士会創立40周年記念事業(仮称)」を位置付け、特設委員会として実行委員会を設置し、2026年度の開催を目指すこととする。

(実行委員会設置準備委員) 関根副会長、長谷川事務局長、石森副事務局長、小林理事

(総括・相談役) 新井会長

上記を、実行委員会設置へ向けての準備委員として位置づけ、今後理事や会員等からさらに実行委員を選出して実行委員会を組織し、2025年度事業計画として立案していく。

2. 教育部

[担当：勝野・今村／報告者：教育部部長・今井卓也]

【報告事項】

ブロック長会議 メールで随時審議を実施。

10/16、11/14にリモート会議を実施。

1) 令和6年度 現職者共通研修・選択研修・基礎ポイント研修

①現職者共通研修

現職者共通研修 「職業倫理」

日時：2025/1/22 講師：長谷川事務局長

上記内容で研修会を開催予定です。

現職者共通研修「作業療法における協業・後輩育成」

日時：2024/10/30 講師：都丸理事

上記内容で研修会を開催しました。研修会運営では特に大きなトラブルはなし。

現職者共通研修 「事例報告と事例研究」

日時：2024/11/13 講師：山下OTR

上記内容で研修会を開催しました。研修会運営では特に大きなトラブルはなし。

現職者共通研修 「実践のための作業療法研究」

日時：2024/12/11 講師：近藤G長

上記内容で研修会を開催予定です。

現職者共通研修「保健・医療・福祉における地域支援」

日時：2024/11/20 講師：山口G長

上記内容で研修会案内を開催予定です。

現職者共通研修 「作業療法の可能性」

日時：2025/1/8 講師：山口副会長

上記内容で研修会を開始予定です。

現職者共通研修 「日本と世界の作業療法の動向」

日時：未定 講師：新井会長

上記内容で研修会の日程調整をしています。

②現職者選択研修

現職者選択研修 「精神障害領域」

日時：2025/2/9 開催方法：オンライン研修

講師：米原OTR(上之原)、鈴木OTR(群馬医療)、

滝沢OTR(郡大病院)、大嶋OTR(ふくる)

上記内容で研修会案内を開催予定です。

③基礎ポイント研修

基礎ポイント研修「意思伝達装置について」

日時：2024/12/14 13:00～

場所：美原記念病院 てんぼくホール(対面開催)

講師：一場弘行(美原記念病院)

上記内容で研修会を開始予定です。

2) 令和7年度 新人症例発表会

日時: 令和7年7月20日

会場: 群馬医療福祉大学(対面開催)

統括: 須田ブロック長(館林厚生病院)、金高OTR(療育センターきぼう)

各ブロック担当: 北中毛→前橋日赤病院(矢吹)、西毛→群馬整肢療護園(吉田ブロック長)、東毛→館林厚生病院(須田ブロック長、糸井OTR)

上記内容で研修会案内を開催予定です。

3) その他

1. 県士会HPの依頼について

研修会担当者と粕川グループ長で依頼内容をダブルチェックし、情報に誤りがないように注意する。

2. 公文書依頼のデータについて

wordとExcelのデータがそれぞれ存在する → Excelデータへ統一する。

【審議事項】なし

3. 広報部 [担当: 都丸・部長 土岐]

【報告事項】

1) 公益事業グループ(グループ長: 中澤)

今月中に部会を開催予定。下半期、来年度の広報活動の方向性について検討予定。

2) ニュース編集グループ(グループ長: 大脇)

10月号の発行が終了し、次回1月号の発行準備中。掲載記事等がある場合には、12月27日までにデータの送付をお願いします。今後、広報ニュースの話し合いの会議を設けていく。

3) 広報企画グループ(グループ長: 金子)

公益事業Gと合同で活動実施。各部と情報を共有し必要な外部情報の収集とまとめを行う。

【審議事項】なし

4. 学術部 [担当: 李・吉岡]

【報告事項】

1) 担当理事

牛込祐樹氏(群馬医療福祉大学)から、近藤健氏(群馬パース大学リハビリテーション学部作業療学科)に学術部長が交代となった。

2) 学術研究グループ(佐藤グループ長)

① 近藤健氏(群馬パース大学リハビリテーション学部作業療学科)から、佐藤里沙氏(群馬大学大学院保健学研究科)にグループ長が交代となった。

② 学術研究グループの勉強会を9名の参加者に対

し、これまでに4回実施した。

③ 群馬県作業療法学会で発表する2名のスライド作成支援を実施した。

3) 学会支援グループ(秋山グループ長)

① 群馬県作業療法学会運営マニュアルの更新を行った。

4) 機関誌編集グループ(柳井グループ長)

① 糸井陽佑氏(サンホープ笠懸)から、柳井亮人氏(太田医療技術専門学校)にグループ長が交代となった。

② 11月下旬から機関誌投稿論文の募集開始予定である。

【審議事項】なし

5. 運転と作業療法特設委員会 [担当: 李]

【報告事項】なし

【審議事項】なし

6. 福祉用具委員会 [担当: 石森]

【報告事項】

1) 福祉用具相談支援システムおよび生活行為工夫情報事業の県士会員登録状況

令和6年11月25日時点において、福祉用具相談支援システムの登録者数は50件、相談件数は2件。生活行為工夫情報事業は1件であった。引き続き事業内容について周知していく。

2) 福祉用具関連の研修依頼への対応について

① 令和7年1月15日群馬県介護支援専門員協会と合同研修を開催していく。講師は美原記念病院 石森卓矢とする。

② 令和6年度中に西毛ブロックを対象に福祉用具についての研修会を開催予定。講師は美原記念病院 石森卓矢を予定。

③ 令和6年12月14日美原記念病院てんぼくホールにおいて、基礎ポイント研修「作業療法における意思伝達装置導入支援の実際」を開催予定。講師は美原記念病院石森卓矢、一場弘行、堀口美紀、長谷川立樹を予定。

3) 令和6年度生活行為工夫情報事業 第2回東部ブロック 作業部会について

日本作業療法士協会生活環境支援室の生活行為工夫情報事業の作業部会が10月30日に開催され、石森卓矢が参加した。

4) 福祉用具委員会の部員について

12/1より美原記念病院一場弘行氏が部員として加

入した。

【審議事項】なし

7. 養成校連絡協議会 [担当:高坂、小林、木村]

【報告事項】

1) 9/28(土)・29(日)臨床実習指導者講習会を、群馬大学にて開催した。

受講者50名、当日欠席1名、49名にて開催。

受講料について1件の問い合わせ、1件払い戻し(欠席者)があった。2件共に非県士会員であった。

払い戻しは、非県士会員受講料¥11,000(受講料¥10,000及び資料代¥1,000)のうち、資料代及び振込手数料を差し引いた金額とした。

2) 北海道学会ポスター発表

「作業療法臨床実習に対する学生評価―群馬県内の横断調査結果から―」

【審議事項】

1) 「臨床実習指導者講習会」キャンセルポリシーの記載について

非協会員・非県士会員:振込手数料を差し引いた受講料を返金する。資料代の返金はしない。

他県士会員:同上(受講料¥2,000)

県士会員:資料代の返金はしない。

審議結果:次年度より、上記の通り「臨床実習指導者講習会」キャンセルポリシーについて適応することが決定した。

8. 地域局 [担当:柴田・今村・小此木・山浦]

【報告事項】

1) 北中毛ブロック支部

①11月21日 ZOOMにて 学会シンポジウム代替開催(北中毛) 参加者 15名

②前橋市、沼田市の介護認定審査員、障害者区分審査員→次回継続になる。

2) 東毛ブロック支部

①11月21日 ZOOMにて 学会シンポジウム代替開催(東毛) 参加者 17名

②10月28日 桐生市地域包括 脳いきいき教室ウォーキング講師 対応 今村

3) 西毛ブロック支部

①富岡市介護保険認定審査員→次回継続になる。

②11月24日 地域包括ケアフェスティバルにて県士会作成リーフレット配布。

③10月25日 ZOOMにて 学会シンポジウム代替

開催(西毛) 参加者 18名

4) 全体

①JAOTより依頼のあった「地域共生社会実現に向けたOTの参画状況」の実態把握に関するアンケートをブロック支部長や二次医療圏担当者にて対応。

【審議事項】なし

9. 福利厚生部 [担当:小此木・部長 設楽]

【報告事項】

1) 県学会振り替え講演

1/25(土) 13:30より予定している。

決定後、福利厚生部で研修会の案内等を行っていく。

2) リレーフォーライフぐんま

参加人数は11名。用意したノベルティ(オーティー君のエコバッグ、協会のパンフレット等)を100部用意し、一般参加者へ配布する。今後、広報部に連絡し、参加者の体験談とともに写真等を掲載していく予定。

3) 優秀演題賞

12/4(水)を第一候補として調整している。

ウェブ会議で優秀演題賞を選出予定。

4) 優秀学生賞

今年度より群馬パース大学リハビリテーション学部作業療法学科学専攻の学生が卒業を迎えるため、パース大学とも調整を行っていく。

【審議事項】なし

10. 訪問リハビリテーション学術大会in群馬

[担当:小此木]

【報告事項】

11月25日より一般演題募集開始。

企業展示やランチョンセミナーの募集も近日中に開催予定。なるべく多く募集をかけて50ブースくらい用意している。

企業様など知っている方がいたら連絡がほしい。

11月29日懇親会の打ち合わせ及びGメッセ視察予定。

【審議事項】なし

11. 地域作業療法推進部 [担当:高坂、吉岡]

【報告事項】

1) 地域包括ケア推進グループ(山口グループ長)

①10月10日 地域包括ケア推進グループ定例会議を開催した。

②10月5日・6日 日本作業療法士協会主催「第2回地域支援事業会議」がハイブリット形式で行われ

た。当グループから選任者として高坂理事、山口グループ長が現地参加した。聴講者として山浦理事(両日参加)、真塩部長(5日のみ参加)、今村理事(6日のみ参加)がオンラインで参加した。

③11月12日「関東・信越ブロック会議」がオンライン形式で行われ、高坂理事、山浦理事、山口グループ長が参加した。

④座談会形式のナイトセミナーを開催予定である。

開催日時:12月13日

2) 認知症支援推進グループ(笹谷グループ長)

①9月20日「令和7年度群馬県地域医療介護総合確保計画(介護従事者分)に係る新たな施策提案及び既存事業に係る要望調査」における要望書を提出した。

②9月21日「家族の会主催記念シンポジウム」の運営に笹谷グループ長が参加した。

③10月19日「第1回認知症ケア資質向上の為の研修会」を実施した。

④10月27日「認知症の人と家族の会のつどい」に笹谷グループ長と野村氏が参加した。

⑤11月中に第2回目研修会チラシの封入作業を予定している。

⑥来年2月の研修会準備と3月の座談会の準備をはじめた。

3) 精神科領域推進グループ(米原グループ長)

①精神障害領域作業療法士向け「第2回相談会、雑談会」を開催予定である。

開催日時:12月6日

開催方法:ハイブリッド式(群馬医療福祉大学、ZOOM)

②精神グループ主催研修会「精神科作業療法における作業に根差した実践とその工夫」を開催予定である。

開催日時:1月25日

開催方法:オンライン(ZOOM)

話題提供者:松岡太一先生(福井記念病院)

③10月7日・10月30日 発達グループとのコラボ研修会について打ち合わせ会議を開催した。

④発達グループとのコラボ研修会「作業療法士のコラボレーション座談会～精神×発達～」を開催予定である。

開催日時:3月1日18時～19時30分 座談会後、親睦会を予定している。

会場:群馬医療福祉大学(予定)

4) 発達支援推進グループ(小田グループ長)

①9月21日「教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会」に小田グループ長、柳井氏、中嶋氏、吉岡理事が参加した。

②9月29日「2024年度 児童福祉領域の作業療法士意見交換会」に六本木氏、吉岡理事が参加した。

③9月27日竹澤小児科 竹澤先生訪問 講師依頼 研修会打ち合わせを行った。研修会は以下の通り開催予定である。

開催日時:2月12日 19～21時

会場:群馬医療福祉大学

④10月7日・10月30日「精神×発達 作業療法士のコラボレーション座談会」企画会議を行った。

⑤10月17日研修企画委員会を開催した。「学校を理解して支援ができる育成研修会―実践編―」の当日運営決め、第3回定期勉強会について検討した。

⑥10月24日「5歳児健診への作業療法士参画に関する情報交換会」に吉岡理事、小田グループ長、六本木氏で参加した。

⑦11月2日・3日「学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会―実践編―」を実施した。

会場:群馬パース大学

講師:酒井 康年氏、本間 嗣崇氏、吉岡 和哉氏

参加者:14名(内2名他士会員)、部員スタッフ1名、学生ボランティア3名

⑧11月7日 群馬県教育員会主催「第4回専門アドバイザー研修会」に講師4名(六本木温子氏、中嶋鮎氏、小林裕太郎氏、河合健人氏)を派遣した。

⑨11月9日 第58回日本作業療法学会にて「群馬県における母子保健領域へのOTの連携および活用について―各市町村へのアンケート調査から―」を発表した。

⑩「関東圏小児OT交流会」に参加予定である。

開催日時:2月1日

会場:東京駅近辺

内容:各士会の取り組み、現状、困り事・課題等について、各士会10～15分程報告する。

【審議事項】なし

12. 事務局 [担当:長谷川・石森]

【報告事項】

1) 会費未納者の督促及び退会処理について

①令和5年度(2023年度)までの会費未納者について 令和6年12月末日までの期限をもって、入金さ

れない場合、退会処理とする旨の通知(督促状)を行う方向で検討している。

②令和6年度の会費未納者について

令和7年3月31日までに入金をしてもらうよう請求書を発行する。

2) 広報物配送締め切りについて

毎月15日締めです。15日までにいただいた書類については、その月に郵送いたします。

ただし、名簿、ニュース等の発送がある場合はそれより遅延する場合があります。

3) JAOT会員退会に関する通知事項

①JAOT協会費未納に対する注意喚起について

JAOTの会費を滞納し退会になると、自動的に県士会も退会になってしまうので注意が必要。

②JAOT退会者に対しての通知について

JAOT退会になった場合に、それに伴って県士会退会となる旨の通知をどの段階でどのような通知をするかは事務局内で協議する予定。

4) メール審議結果報告

①田中議員後援会の入会に関する情報提供について

所属施設及び在籍会員数のデータのみを群馬県PT協会へ提供することとなった。

②田中議員政経懇話会への出席(パーティ券の購入)について

否定多数によりGAOTからは出席はしないこととなった。

上記2点の審議を決定した。

【審議事項】

1) 複合機の故障に伴う新規機種の購入について

審議結果:補正予算7万円を決定した。

2) 政党、議員、リハビリテーションを考える議員連盟など政治関連の案件が増加傾向にある。これらの活動に対する県士会の取り組みについての明文化、またはそれに対応する部署の設置はしていない。部署の設置などを決定したい。

審議結果:政治案件対応専門部署の設置は見送る。政治案件については、会長が窓口となることが多く、今後も引き続き会長及び事務局が窓口となり、対応についてはこれまでと同様、三役及び理事会で丁寧に協議の上行っていくようにする。職能団体である当会としての政治活動については、当会定款第4条の(9)「作業療法士の社会的地位の向上に資する活動」に該当するので、以下に示す原則(①特定の議員や政党を支持するものではないこと、②会員個人の

思想信条の自由を侵すものでもないこと、③定款に定める当会の目的の達成に必要なと考えられる範囲と対象に対してだけ行われるものであることの「政治活動の3原則」)に照らして問題ないと判断されたものについては、当会の目的に該当すると検討の上判断された活動に限って行うことが出来るものである。なお、公職選挙法では、政治活動を、政治上の目的をもって行われる一切の活動から選挙活動を除いたものとして定義づけている。つまり、選挙活動と政治活動とは厳に区別されるものであり、上記①②の原則に照らしても、当会としては、選挙活動については引き続き行わないものである。

13. 財務部 [担当:高橋・小林]

【報告事項】

1) 会費未納者について12月中に通知を行い、納付されない場合は退会処理とする。

(~2023年度未納、1月中。2024年度未納、3月中)未納者人数は最終確認後に理事会内で報告する。

2) 協会退会者についても通知を行い、再入会が確認できない場合(2025.3)はGAOT退会処理とする。

【審議事項】なし

その他連絡事項:関根副会長より、10/5に参加した『都道府県理学療法士会・作業療法士会において、関係機関と連携した地域・職域での予防健康づくりを目的とした保健活動を推進するための研修』についての報告があった。

次回理事会予定 令和7年1月29日(水) 19:00~

ひかりサロン中之条

ひかりサロン中之条は、群馬県北部の自然豊かな温泉地に位置し、中之条駅からほど近い場所にあります。地域のスーパーマーケット「ヤオコー」様の協力を得て、買い物を通じたりハビリ(ショッピングリハビリ)を実施している簡易通所型デイサービスです。令和2年2月に開設され、要支援1・2の方や地域で指定された対象者を主にサポートしています。営業は週3日(月・火・木)で、現在は、作業療法士1名、看護師1名、歯科衛生士1名、介護職員1名の体制で運営されています。



○ショッピングリハビリについて

ひかりサロン中之条では、ノルディックポールを使用した40分間の体操の後、スーパーマーケット内で約50分間のモールウォーキングを行います。買い物をリハビリの一環として取り入れることで、身体機能の維持・向上だけでなく、日常生活動作の練習や認知機能の刺激にもつながっています。買い物を通じて旬の食材や調理方法について情報交換したり、会計の際に計算を行ったりすることで、脳への良い刺激を与えています。また、利用者同士の自然な交流が促進され、家に閉じこもりがちな高齢者が他者と会話する貴重な機会にもなっています。

○利用者への効果

多くの利用者様が、「ここに来ると会話ができるのが楽しみ」と話され、地域交流の場としても活用されています。交流を通じて「旅行に行きたい」「料理を再開したい」といった新たな目標を持つ方も増え、前向きな生活意欲を取り戻されています。さらに、定期的な運動と社会参加により、介護度の進行予防や健康維持が期待されます。

○地域社会への影響

ひかりサロン中之条の取り組みは、地域全体にも好影響を及ぼしています。利用者が活気を取り戻すことで、家族や近隣住民との関係性が深まり、地域コミュニティの活性化につながっています。また、買い物支援の側面からも、高齢者が自立した生活を送るための重要な役割を果たしています。加えて、元気な高齢者が増えることで社会保障費の抑制を図ることもねらいの一つとなっています。

ひかりサロン中之条はこれからも地域全体の活性化に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします





今回、とても真剣です。なぜなら組織という難物について考察するからです。まず、どの組織においても危機管理体制の構築は極めて重要です。そして危機管理とは、「サイバーテロ、戦争、不祥事、重大事故、自然災害など事業継続を脅かす事態に対応するための、準備、予防、対応、回復の一連プロセス」を指します。なんだか穏やかではないけれど調べてみたらそうらしい。

これらのことを県士会に置き換えてみます。サイバーテロはないけれど、大手運輸会社を騙る者から、妙な詐欺メールが届きます。「お届け物があります。住所が不正確です。お届けにはクレジットカードの登録をしてください。」…せめて住所聞いてくれ。

また事務局内では、仕事のなすりつけ合いという小競り合いはありますが、戦争と言うほど火力の高い摩擦はありません。不祥事とか事故というと、事務所にあるプリンタが、資料発送直前のクソ忙しいときに限って紙を詰らせたり、猛暑の酷いときに申し合わせたかのように扇風機が首を振らなくなったりします。これは、放置してよい問題ではありません。マダムKato※の指示通りに丁寧に紙をお出しし、心地よいそよ風をお届けするというのが彼らの使命であり義務です。

それなのに紙は出したくないし、心地よい風を届ける気持ちもない？

うん。OK。クビです。いつも挽回のチャンスがあると思うなよ。私は常日頃、文句を言ってこない相手には強く出るタイプです。容赦なくリストラをしますし、今後もするでしょう。そうしたわけで県士会運営は基本的に平和です。

残るのが自然災害です。ここでは災害対応という側面から県士会の組織的取り組みについてご紹介します。県士会では自然災害・被災地支援に対応する部署として、災害対応委員会があります。委員長は関根副会長が、委員メンバーは理事全員と、他に3名ほどの部員さんが在籍して組織されています。活動は、日本作業療法士協会との災害時安否確認のシステム訓練や、群馬JRAT (Japan disaster rehabilitation assistance team) と連携した被災地への派遣事業などです。

直近では、2024年1月1日の能登半島地震の災害派遣の活動実績があります。

群馬JRATからPT/OT/ST各職能団体に、災害派遣要請の依頼がありました。まず第一陣を先遣隊として派遣し、現地の状況を含め対応に当たるという方針でした。関根委員長を中心とした協議が開かれ、県士会からは委員長自ら先遣隊として参加されることとなりました。その間の意思決定は極めてスピーディーでした。群馬県JRATとして、医師、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士各1名、合計4名のチームが結成され、1月20日(土)～1月22日(月)の3日間で9ヵ所の避難所支援が実施されました。活動の実態として関根副会長からの報告では、リハビリアージ、生活不活発による廃用予防、DVT予防、避難所の環境評価及び支援を主に行ったとのことでした。避難者だけでなく、避難所運営をしている行政職員、災害対策本部スタッフの疲労が相当たまっていること、そんななかでなんとか踏ん張っていることなどの状況が生々しく伝えられたのでした。改めて、災害対応における組織活動の難しさを認識することとなりました。

そもそも、災害派遣で活躍する人とはどんな人材か、私なりに考えてみました。第一に、組織的な支援活動を理解し行動ができることが求められます。判断能力、コミュニケーション能力、ストレス耐性、問題解決能力、専門家skill、協調性といった複合的な能力についても必要そうです。極限での任務遂行にはタフネスさを併せ持つこともかかせない。さらに言えば…柔軟かつ臨機応変に、優しさと包容力と…。ってまだある?…

もはやそれって、シュワルツネッカーかスタローンくらいしか出来ないのでは？

私が憧れてやまないスーパーヒーローたちに共通するのは「この人なら、なんとかしてしまうかもしれない」という圧倒的な安心感です。

雨霰のように降り注ぐ銃弾は、なぜか彼らを避けて通るし、爆破されて体が吹き飛ばされても姿勢一つ崩さない。酷く傷つけられた身体も走っている内に不思議と治癒するのです。「愛」故に、全てを凌駕する。この世界を支配する物理法則も生理現象もヒーローの前では無力。私はこのような屈強な偉人達を、畏敬の念を込めて「タフガイ」と呼んでいます。

想像してみてください。あなたが助けを必要とした時、安定感抜群のタフガイが目の前に現れたら、どれほど心強いことか。そして当会には、緊急事態の際、身を挺して活動に従事した実績を持つ、頼りになる災害対策組織の要となる人がいます。

これは極めて重要な事実です。

1月末の理事会で災害派遣実施報告を聞いていた時のことです。Zoom画面越しにみえた関根副会長のたたずまいが、うっすらとターミネーター2のT800に重なって見えたとき、「タフガイがいる!」と私は小躍りしたのです。

「組織危機管理の要諦は中心にあり」私は確信に至りました。ろくでもない思考過程でも結論には至るのです。

いざって時に頼りになるタフガイが組織の中心に居ると言うことがどれほどの安心感をもたらすのか、それがどれほど貴重で幸運なことなのか、私はそのことをしっかり心に刻みたいし、多くの方と分かち合いたい。

え?知らなかったって?なんてことだ…。

今からでも遅くない。心入れ替えてしっかりと理解した方がいい。むしろひれ伏す位がちょうどいい。

とはいえ、日常的に災害に関して意識することは少し難しいように思います。そこに従事してくれる頼りになる存在に思いを寄せることも、それほどないかもしれません。だからこそ、こうしたコラムを通じて少しでも興味や関心を持つきっかけになったら、とてもうれしい限りです。今年の能登半島地震に限らず、その前の熊本地震の際にも、会員の方が災害派遣に協力してくださいました。そうした事実が正しく伝わっていけばいいなと思いました。

今回の能登半島地震被災地支援について、会員の方から何人もエントリーをしていただきました。積極的に参加意志を表明された会員の皆様に改めて敬意の念を深くするとともに、快く送り出そうとしていただいた職場の管理職の方々のご決断に大変勇気づけられました。またスタッフ不在の間、診療の現場のサポートに回るようになった職員の方々のご尽力も被災地支援の協力の一つの形と言えます。皆さん本当に素晴らしい。

以上、県士会の危機管理の要にはタフガイがいるというお話でした。

県士会には様々な委員会や部会があり、そこでは多種多様な活動が行われています。すべては会員の利益と一般市民の健康に寄与するために、今日もどこかで、誰かが、人知れず絶賛活躍中です。

次回、「複製体」をお届けします。

※マダムKato: 当県士会の事務局員さん。いつも面倒な問題をスマートに処理していただいています。

コラムの感想をお待ちしております。→



事務局・財務部からのお知らせ

【2024年度群馬県作業療法士会の会費の納入はお済みですか？】

平素より、群馬県作業療法士会の活動に対してご理解いただきありがとうございます。
今年度の会費に関しまして、2024年12月末日までに納入がない会員の方へお知らせいたします。

2024年度の会費につきまして、下記の通り、納入いただきますようお願い申し上げます。特別な理由なく会費を期限（2025年3月31日）までに納入いただけない場合、定款11条5項に基づき会員資格の喪失となりますので、ご留意ください。

ご不明な点がございましたら、県士会ホームページお問い合わせフォームよりご連絡いただければ幸いです。

何卒よろしくようお願い申し上げます。

◎ご納入期限 2024年3月31日まで

◎振込先

振込先金融機関：群馬銀行 本店営業部 店番号100

預金種別：普通

口座番号：2625188

口座名義：一般社団法人群馬県作業療法士会

口座名義フリガナ： シヤクンマケンサキョウリョウホウシカイ

注）依頼人名の前に必ずOT協会会員番号の入力をお願いします。個人を特定するために必要です。

ご協力をお願いいたします。

依頼人 00000ケンマフコ

《お問い合わせ先》

群馬県作業療法士会 事務局

e-mail:;info@gunma-ot.org



お問い合わせフォーム

投稿大募集!!

ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や日常業務で工夫している点、こんな研修会に参加した・・・などなど、皆様からの投稿を募集しております。

どんなことでも構いませんので、お気軽にお寄せ下さい。
お待ちしております!!

ニュース原稿の送付先

daxiezongya@gmail.com

県士会ホームページアドレス

<http://www.gunma-ot.org/>

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

記事の依頼にご協力して頂いた先生方につきましてはご多忙の所ありがとうございました。

正直なところ広報誌を見るって方は少ないのではないかと色々な方の話を聞いて思いました。そこで、今号から心機一転ガラリと変えてみました。表紙のだるまは群馬県の特産品である高崎だるまをモチーフに某施設の利用者様に絵を描いていただきました。

興味が沸き少しでも中身まで見てみようかなと思える広報誌を皆様の協力を頂きながら作っていきますので今後ともよろしくお願いいたします。 ○

群馬県作業療法士会ニュース

発行者 || 新井 健五

発行所 || 群馬県作業療法士会事務局 〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号 TEL・FAX 027-224-4649

編集代表 || 大脇 宗雅 編集委員 || 関 仁紀、下田 幸、辻 千鶴子、白倉 研吾 印刷 || 星野印刷株式会社